

日本初! 映画と生演奏のスーパー・コラボ・ライブが遂に実現!



The Only Thing More Terrifying Than The Last 12 Minutes Of This Film Are The First 92.



Once You've Seen It You Will Never Again Feel Safe In The Dark

RELEASED BY INTERNATIONAL CLASSICS INC.

©1976 SEDA SPETTACOLI S.P.A. DESIGN AND ARTWORK ©2004 CDE / VIDEA

クラウディオ・シモネッティ率いるスーパー・バンド、ゴブリンが3度目の来日を果たし、初の単独公演の開催となった。そして今回は、ハロウィン・ウィークにちなんで、ゴブリンと70年代イタリアン・ホラー映画の金字塔『サスペリア』との完全コラボ上演が決定した。第一部では、『サスペリア』を全編上映し、なんとそのサウンドトラック部分を全てゴブリンが生演奏するという、日本初のライブ・アンド・シネマ・スペクタクルを、一夜限定で日本初公開するというものだ。目の覚めるような鮮烈な映像と、生々しいライブ・サウンドで最大級の恐怖が味わえる、これまでに体験したことのない前代未聞の映画鑑賞となることだろう。さらに第二部では、ゴブリンやクラウディオ・シモネッティが手掛けた、歴代のホラー映画のサウンドトラックの名曲を含むゴブリンのベスト・クラシックスを披露するという。超豪華二本立てとなる、3時間以上に及ぶ怒濤のゴブリン・ワールドを見逃すなかれ!

片山 伸 [Shin Katayama]

<クラウディオ・シモネッティ・ゴブリン>

ゴブリンはクラウディオ・シモネッティ(kbd)を中心に1975年に結成されたイタリアン・ロック・バンド。映画監督ダリオ・アルジェントは、それまで自身の映画にエンニオ・モリコーネやジョルジョ・ガスリーニといった前衛音楽作曲家を起用していたが、『サスペリア2』を製作するにあたり、『エクソシスト』とマイク・オールドフィールドの「チューブラー・ベルズ」のようなコラボの成功例を思い描き、ロック・ミュージシャンへ音楽制作を依頼することにした。そして白羽の矢が立ったのがゴブリンだった。ゴブリンをはじめチェリー・ファイヴと名乗ってアルバムを制作していたが、『サスペリア2』のレコーディングに際してダリオ・アルジェントからイ・ゴブリンズと名付けられた。ゴブリンによるデビュー曲「サスペリア2」のテーマ(Profondo Rosso)はイタリアのシングル・チャートでNo.1に輝き、さらにアルバム『サスペリア2』は1975年度の年間アルバム・チャートの1位を獲得し、一躍イタリアのトップ・バンドに躍り出た。ゴブリンは1976年にオリジナル・アルバム『ローラー』をリリース、素晴らしいインスト・ロックを演奏していたものの、プログレッシブ・ロック・ファン以外には受け入れられず、大きなヒットには至らなかった。1977年には再びダリオ・アルジェント監督による映画『サスペリア』の音楽を担当、映画は世界的な大ヒットとなった。ゴブリンは1978年にオリジナル・アルバム『マークの幻想の旅(II Fantastico Viaggio Del "Bagarozzo" Mark)』をリリースして以降は、完全にサウンドトラック御用達のバンドと化した。以降、度重なるメンバー交替劇をくり返しており、現在はゴブリンの名の下に複数のバンドが活動を続けている。今回来日公演を行うクラウディオ・シモネッティ・ゴブリンは、清く正しいゴブリンの系譜上にあるバンドであり、さらにシモネッティがソロ名義でダリオ・アルジェント監督と組んだ映画音楽の数々も披露してくれることになっている。

CLAUDIO SIMONETTI'S
Goblin ゴブリン

musiche dalla colonna sonora originale del film



前代未聞の生演奏上映
一夜限りのライブ&
シネマ・スペクタクル!



決してひとりでは見ないでください

Suspiria
un film di dario argento
サスペリア

LIVE & CINEMA SPECTACLE

恐怖の音異次元会場
ライブ・サウンド2016
SUSPIRIA in CITTA'

映画「サスペリア」全編上映とゴブリンの生演奏が日本初のシンクロ共演!
ゴブリンのベスト・ヒッツ・ショーとの豪華二本立てで贈る
3時間超のゴブリン・ワールド!! クラブチッタは恐怖の館と化す!!!

2016年 10月29日[土] CLUB CITTA'

ゴブリン - CLAUDIO SIMONETTI'S GOBLIN -

「サーカム・サウンド」を
超えた恐怖の異次元
「LIVE ZOUND」で
「サスペリア」が蘇る!

2016年 10月29日[土] CLUB CITTA'

▶OPEN 16:00 ▶START 17:00(終演時間は20時半頃を予定)

★指定席/特別記念CD付 スペシャル・チケット 前売:¥12,000(税込) ★全席指定 600席限定

※チケットにはアーティスト秘蔵のアウトテイク音源を収録した完全限定のミニCDが含まれています。特別記念CDは公演当日にお渡し致します。
※入場の際にドリンク代¥500が必要となります。

※ チケット先行販売情報 ※

【 CLUB CITTA' ホームページ先行受付 】 ※お振込み制

http://clubcitta.co.jp/ticket/

☆受付期間: 7/30(土)午前0:00~8/12(金)23:59

振込締切: 予約日より1週間以内[最終締切:8/19(金)]

【 SHOP店頭先行販売 】 8月6日(土)~

★ディスクユニオン 新宿プログレッシヴ・ロック館 03-3352-2141

★目白ワールド・ディスク 03-3954-5348

★RECOfan 渋谷BEAM店 03-3463-0171

★タワーレコード川崎店 044-245-9522

※ チケット一般発売情報 ※

【 8月13日(土) 一般発売開始 】

★チケットぴあ: 0570-02-9999 http://t.pia.jp/ (Pコード: 305-483)

★ローソンチケット: 0570-084-003 http://l-tike.com/ (Lコード: 74291)

★イープラス: http://eplus.jp

※ チケット購入者限定 ※

【 来日記念!!! 豪華特典付き 公演プレミアム・パッケージを販売! 】

★ 20名~25名限定 ¥20,000(税込)

【内容】

1. 本番前のリハーサルを見学して参加者だけに特別に演奏されるステージを間近で鑑賞。
 2. 開演前のステージ上でアーティストと一人ずつ記念撮影。(特製プロマイドにしてプレゼント!)
 3. 公演アーティスト オフィシャルTシャツ
 4. 公演記念パンフレット(サイン色紙付) (※売切れ必至の上記2アイテムをあらかじめ確保いたします。)
 5. 公演アーティスト・オリジナル記念品。(非売品)
- 公演チケットをご購入の来場者の方を対象に抽選予約販売となります。
●受付方法は、チケット一般発売開始 [8/13(土)] 後に
公演オフィシャル・サイト (http://best-italianrock.com/) に掲載させていただきます。

◆主催: クラブチッタ / bayfm78「POWER ROCK TODAY」

◆企画制作・招聘: クラブチッタ

◆制作協力: Amy Ida (SFERA entertainment)

◆協力: Shin Katayama (http://www.italianmusic.jp/) / 合同会社是空 /

株式会社ハビネット / ディスクユニオン / カワサキ ハロウィン プロジェクト

◆Supported by: TOWER RECORDS



◆お問合せ: CLUB CITTA' 044-246-8888 http://clubcitta.co.jp
【ザ・ベスト・オブ・イタリアン・ロック 公演オフィシャル・サイト】 http://best-italianrock.com/
※演奏時間及び内容は変更になる場合がございます。
その際の子どもの払い戻しは行いませんので、予めご了承ください。

第一部：映画「サスペリア」全編上映&シンクロ・ライブ

映画「サスペリア」の音楽を担当するイタリアン・ロック・バンド「ゴブリン」がクラブチッタの大スクリーンで「サスペリア」映画全編の上映とともに全てのサウンドトラックを忠実にシンクロ演奏し再現する！日本初、まだ誰も体験したことのないライブ&シネマ・スペクタクル！！

サスペリア
 製作国：イタリア
 監督：ダリオ・アルジェント
 製作：クラウド・ディオ・アルジェント
 サルヴァトーレ・アルジェント
 脚本：ダリオ・アルジェント
 ダリア・ニコロディ
 撮影：ルチアーノ・トヴオリ
音楽：ゴブリン
 出演者：ジェシカ・ハーバー
 アリダ・ヴァリ
 ウド・キア
 ミゲル・ボセ 他
 公開：1977年
 上映時間：99分



©1976 SEDA SPETTACOLI S.P.A. DESIGN AND ARTWORK ©2004 CDE / VIDEA

映画「サスペリア」解説

決して、ひとりでは見ないでください——
 白いトウシューズが真赤に染ったとき スージーは、それが全て現実だと知った……
 鬼オダリオ・アルジェントが創造したゴシックホラーの金字塔。まったく色あせることのないホラー映画の傑作中の傑作。アメリカからドイツのバシエ学校に留学してきたスージー。到着早々、彼女の周囲で奇妙な事件が次々と発生する。天井から落ちてくるうじ虫。盲導犬に噛み殺される盲目のピアニスト。学校に隠された秘密とはいったい何なのか……。鬼オダリオ・アルジェントの地位を決定付けたホラー映画の金字塔。宝石のようにきらめく色彩の乱舞と華麗な殺人描写が観るものを圧倒する。今なお色あせることのない傑作中の傑作。

サスペンス映画「サスペリア2(Profondo Rosso)」(75年)を大成させたダリオ・アルジェントは、次作に錬金術やオカルトなど、非

日常的なテーマを盛りこむことにし、英作家トマス・ド・クインシー(1785-1859)の作品『深き淵よりの嘆息(Suspiria De Profundis)』(1845年)の1編『レバーナと悲しみの淑女(Levana And Our Ladies Of Sorrow)』に登場する3人の母の話を元に映画を製作することにした。3人の母(=魔女)とは、ラテン語でマーテル・サスピリオルム(Mater Suspiriorum)、マーテル・テネブラルム(Mater Tenebrarum)、そしてマーテル・ラクリマルム(Mater Lachrymarum)のこと。その第1弾の『サスペリア』は、マーテル・サスピリオルムを題材にしたもので、続編となる『インフェルノ』(80年)はマーテル・テネブラルム、そして最新作『サスペリア・テルザ 最後の魔女』(07年)はマーテル・ラクリマルムをテーマにし、魔女3部作は完結した。『サスペリア』は純色の赤を基調とした鮮やかな色彩感と、ウジ虫、吐血、殺人、そして見えない恐怖(音楽)など、全方位から五感を刺激する要素がところ狭しと並べられており、息つく暇がないのが特徴だ。“見てはいけないものほど見たくなる”という人間の心理を見事に逆手に取ったホラー映画の傑作である。

9月2日(金)発売!
『サスペリア(HDリマスター/パーフェクト・コレクション)』
Blu-ray(2枚組仕様)
 HPXR-75/希望小売価格¥6,800+税
 発売:合同会社は空、株式会社ハピネット
 販売:株式会社ハピネット

第二部：ゴブリン・ベスト・ヒッツ・ショー

「ゴブリン」の創始者クラウド・ディオ・シモネッティが、自ら作曲を手がけた「ゴブリン」歴代ホラー映画サウンドトラックの名曲と、ライブ初公開曲を含むベスト・ヒッツ・クラシックスを日本限定プログラムで披露する、超豪華ワンナイト・スタンド公演!!



ベスト・ヒッツ & サウンドトラック / スペシャル・セレクト・コンサート

- 1. Profondo Rosso [Profondo Rosso / Goblin]**
- 2. Death Dies [Profondo Rosso / Goblin]**
- 3. Wild Session [Profondo Rosso / Goblin]**
 ダリオ・アルジェント監督のサスペンス映画『サスペリア2(赤い深淵)』(75年)より、伊シングル・チャート1位に輝いた壮大なタイトル曲のほか、迫り来る恐怖が感じられる「Death Dies」、ジャム・セッションのような「Wild Session」の3曲を披露。どの曲も視覚に訴えかける名曲ばかりだ。
- 4. Roller [Roller / Goblin (Wampyr Soundtrack)]**
 ゴブリンが演奏テクニックとアレンジ能力の高さを誇示したオリジナルアルバム『ローラー』より。この曲はジョージ・ロメロ監督のホラー映画『マーティン/呪われた吸血少年(Wampyr)』(78年)イタリア版のメイン・タイトルとしても使用された。
- 5. Epopea [Perche Si Uccidono / Il Reale Impero Britannico]**
 ルチオ・フォルチ監督のサスペンス映画『殺意の動機(Perche Si Uccidono)』(76年)を変名バンド、イル・レ・アール・インペロ・ブリタンニコ名義で演奏したサウンドトラックより、痛快な1曲。
- 6. Chi? [Single / Goblin]**
 1976年に放映されたイタリアのTV番組『Chi?』のオリジナル・テーマ曲で、番組はクイズ形式の推理ものだった。非常にクオリティの高い演奏で、シングルのみリリースだったこともあり、貴重な楽曲でもある。
- 7. Suspiria [Suspiria / Goblin]**
 ダリオ・アルジェント監督のホラー映画『サスペリア』(77年)のメイン・テーマ。
- 8. E Suono Rock [Il Fantastico Viaggio Del Bagarozzo Mark / Goblin (Wampyr Soundtrack)]**
 ゴブリンのオリジナル・アルバム『マークの幻想の旅』(78年)より。この曲は前述の映画『マーティン/呪われた吸血少年(Wampyr)』(78年)イタリア版に使用された。
- 9. L'alba Dei Morti Viventi [Zombi / Goblin]**
- 10. Zombi [Zombi / Goblin]**
 ゼンビ・ブームの火付け役となった、ジョージ・ロメロ監督のホラー映画『ゾンビ』(78年)より、「ゾンビの夜明け」と「メイン・テーマ」を披露。じわじわと歩み寄ってくる恐怖が脳を刺激してくれる。
- 11. Tenebre [Tenebre / Goblin]**
 ダリオ・アルジェント監督のサスペンス映画『シャドー』(82年)より。シモネッティ=ビニャテリ=モランテ名義の曲だが、紛れもなくゴブリンのサウンドだ。
- 12. Phenomena [Phenomena / Claudio Simonetti]**
 ダリオ・アルジェント監督のホラー映画『フェノメナ』(85年)より、シモネッティ名義のメイン・テーマ。
- 13. Demoni [Demoni / Claudio Simonetti]**
 ダリオ・アルジェント製作総指揮、ランベルト・バーヴァ監督のスプラッター映画『デモンズ』(85年)より、シモネッティ名義のメイン・テーマ。ゴブリンとは異なる新たなサウンドを確立させている。
- 14. Opera [Opera / Claudio Simonetti]**
 ダリオ・アルジェント監督のサスペンス・ホラー映画『オペラ座 血の喝采』(87年)より、シモネッティ名義のメイン・テーマ。もの悲しさが残るバラード仕立ての美しい曲。
- 15. Non Ho Sonno [Non Ho Sonno / Goblin]**
 ダリオ・アルジェント監督のサスペンス映画『スリープレス』(01年)より、メイン・テーマ。メンバー交替の多かったゴブリンの70年代の黄金期メンバーが再集結した、記念すべき復活作となった。
- 16. La Terza Madre Main Theme [La Terza Madre / Claudio Simonetti]**
 ダリオ・アルジェント監督のホラー映画『サスペリア・テルザ 最後の魔女』(07年)より、シモネッティ名義のメイン・テーマ。魔女3部作の完結編にふさわしい宗教的な荘厳さを持つ、サンプリングを駆使した合唱が聴きどころ。
- 17. Dracula [Dracula 3D / Claudio Simonetti]**
 ダリオ・アルジェント監督のゴシック・ホラー映画『ダリオ・アルジェントのドラキュラ』(12年)より、シモネッティ名義のメイン・テーマ。幽玄なモチーフと雄大なオーケストレーションが美しくマッチした名曲。

(リリース年代順に表記)
 ※演奏曲は順不同となります。曲目が一部変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください。



【来日メンバー】

クラウド・ディオ・シモネッティ：keyboards, acoustic guitar, programming
 ブルーノ・プレヴィタリ：guitar, greek bouzouky, bass
 ティッタ・タニ：drums, percussions
 アリーチェ・ベルナルド：dancer, choreography

